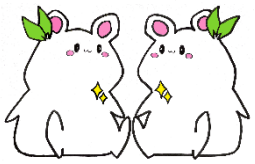
令和６年３月４日

光が丘第二中学校 学校だより

TEL　３９７６－９２０２　FAX ５３８３－３６０８
https：//www.hikarigaoka2-j.nerima-tky.ed.jp



子どもにとっての生き方モデル

校長　　山田　美鈴

本校正面玄関の紅白梅は、例年より早く満開の時期を迎え「次はあなたの番ですよ！」と告げているかのように桜の木の方向を向いて花吹雪が舞っています。

３月は今年度の締めくくりとともに新年度スタートへの助走段階となります。特に３年生は中学校生活の集大成として立派な姿で卒業の日を迎えることでしょう。本校全教職員、そして全在校生と共に新たな門出にエールを贈りたいと思います。

さて、義務教育年限を終えるまでの中学校では９教科の学習内容はもちろんのこと、むしろそれ以上に社会人として身に付けておくべきルールやマナー、他者との関わりなどについて指導していきます。その渦中では不安や苦悩があるでしょう。失敗することも当然あります。学校ではそんな時こそ成長のチャンスと捉えていき、丁寧に指導していきます。「かわいい子には旅をさせよ」という諺があります。厳しい経験を積むほど成長があるので、子どものことを思うならむしろ辛い経験も大切であるという意味です。時代が変われどこの方程式に変わりはありません。

かつて「宿題代行」という業務があると聞いて耳を疑いました。営利目的に子どもの心情を利用した悪徳商法だと私は感じます。また某学習塾では定期考査の問題を取り溜めて過去問対策と称して子どもに配布するなど・・・。これも営利目的に利用されている結果といっても過言ではないでしょう。教員は当然その対応策に手を打ちますが、そもそも解答を書き写す力を身に付けさせようとするのか？課題に向き合って試行錯誤して取り組む力を育成しようとするのか？大人として子どもに何を伝えていくのか？は重要なポイントです。社会全体がこの先の将来を担う子どもたちにどういった力を身に付けさせるべきなのかを、家庭も学校も真剣に考えていかなければなりません。

広義で捉えれば、経済優先の先進国が今の地球温暖化を促進させています。自分さえよければ、自分の周りさえよければという思考が蔓延してきた結果です。

地球規模で物事を考えていくのは至難の業ですが、それでも目の前の子どもたちには模範となる生き方モデルとなれるよう、苦しいことから逃げずに失敗を恐れずに正々堂々とした姿勢を見せていきたいものです。（明文化してしまったので、私も頑張らねば・・・。）

～　生徒の活躍　～

＊練馬区児童生徒表彰（様々な分野で優秀な結果を残した生徒に贈られる表彰です。）

＜書道＞　　１年　田中　凛　・　小川　晴香

＜少林寺拳法＞　１年　村松　周

＜チアダンス＞　１年　横山　悠月

＜百人一首＞　　２年　宮本　和季

＜絵画＞　　３年　境田　凪紗

＜レスリング＞　３年　前田　悠樹

＊佐藤大清記念中学生絵画展　入選　　３年　橋本　稜央

温暖化といえども先月は雪が降り積もりました！

早朝より**雪かき**をしてくれた有志の皆さん、ありがとうございました！

校内生徒作品展を行いました！　ご来校いただきありがとうございました。

～　保護者の皆様へご連絡　～

＊３学期スタート時から学校連絡アプリ「sigfy」を活用しております。登録がお済みでないご家庭は至急ご登録をお願いいたします。

＊練馬区の施策として留守番電話応答メッセージの対応時間が ２ 月 13 日から変更となりました。午後６時 30 分から午前７時 30 分までは留守番電話応答メッセージの対応とさせていただきます。欠席遅刻などの連絡は「sigfy」をご利用ください。

＊３月 13 日（水）10 時～11 時 30 分に本校第一体育館にて「笑顔と学びの体験プロジェクト」を行います。内容詳細は当日までのお楽しみですが、保護者の方の見学もできますので、お時間のある方はご来校ください。